※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編 言語文化」　（大修館書店）						
副教材等	ワークシート等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文、漢文の内容を取り扱うのは高校生活で初めてになるので、基礎・基本的な内容から始めます。基礎的な知識技能を定着させましょう。
・音読の習慣をつけ、古文・漢文の独特なリズムや文体に触れるとともに、語彙力や読解力の向上をめざしましょう。
・様々な文章を読んで、「読む能力」を向上させ、意思を伝えるための「書く能力」やコミュニケーションのための「話す・聞く能力」をしっかりと身に付けてください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ［教材］ 「言葉の森を育てよう」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 c：言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート
	小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ［教材］ 「羅生門」	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 b[読]：作品や文章の表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 c：言葉が持つ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート
	古文の響きやリズムを味わう ［教材］ 古文への招待 ・いろは歌 ・古文冒頭選	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 b[読]：文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 暗唱テスト	ワークシート ふりかえりシート
	児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。 ［教材］ 「児のそら寝」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえることができる。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート
後期	作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。 ［教材］ 「徒然草」「枕草子」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 c：『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えを持とうとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート

※令和４年度以降入学生用

	漢文の訓読の決まりについて理解する。 ［教材］ 訓読のきまり 格言 再読文字	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができる。 c:漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート ふりかえりシート
	「蛇足」「虎の威を借る狐」という言葉の意味について考えを深める。 ［教材］ 「蛇足」「借虎威」	a:古典の世界に親しむために、読解に必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 c:漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート
	登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ［教材］ 「とんかつ」	a:文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 b[読]:文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価できる。 c:登場人物の人物像や心情を読み取り、作品の構造を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間